



このQ-infoはお取引先様をはじめサポートスタッフがいろいろとお世話になっている方、Replyシートで購読のご希望をいただいた方、サポートスタッフが最近名刺交換をさせていただいた方などにお送りしております。送付の可否などはReplyシートでお聞かせ下さい。

## スタッフのつぶやき

サポートのスタッフが、読者の皆様に一言お話しさせていただくコーナーです。

え？このコーナーまだ続けるんですかあ！と昨年1月の時にも叫びましたがスルーされ、あれから三回目（通算六回目）の登板となりました。つきましてはほとんど苦し紛れの投稿。題して“山口の真実”。

- ・年齢：ジョン・F・ケネディがアメリカ大統領に就任した年の3月生まれ
- ・身長・体重：非公開（最近少し体重が落ちた。どうせリバウンドするだろう、とのんきに構えていたが落ちたまま。悪い病気ではないかと心配している）
- ・持病：耳鳴り、飛蚊症（医者には加齢によるものなのでどうしようもないと見放されている）
- ・居住地：京都市山科区某所
- ・家族：妻、息子、娘（子供達はすでに結婚して独立、運送会社勤務の妻と日々夫婦喧嘩をしながら過ごしている）
- ・趣味：読書、音楽鑑賞、映画鑑賞、楽器（最後のはあれを少し、これを少しでどれもまともに弾けない）
- ・愛読書：「長いお別れ」レイモンド・チャンドラー
- ・愛聴盤：“Band On The Run” Paul McCartney & Wings
- ・好きな映画：「イージーライダー」
- ・尊敬する人物：米田 明（時と場合によるが）
- ・苦手なもの：パソコン、西田さん（どちらも言うことをきかない）
- ・嫌いなもの：車の運転、政治家
- ・座右の銘：引き際が肝心

皆様におかれましてはこれを読んでへーそうなんやー、と多少身近に感じていただければ幸いです。（システム部 山口）



## IT雑情報

【なりすましメール】

このコーナーではITに関わるいろいろな情報をお届けします。

こんにちは、シンキチです。

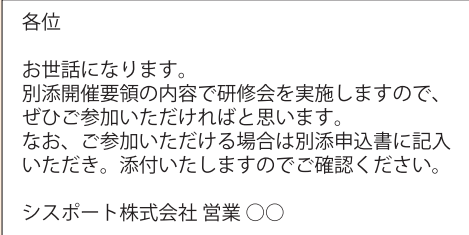
今回は、「なりすましメール」について書いてみたいと思います。なぜかという、最近身近に発生したからです。

「なりすましメール」は、何者かが誰かになりすまして、送った相手をだます、ってメールですが、最近は手口がかなり巧妙になってきていて、われわれでも一瞬だまされそうになることもあります。皆さんも十分に注意してください。

今回、メールを送った覚えがない人「取引先B」から連絡がありました。（【図1】参照）

「サポートからメールが送付されてきた。添付ファイルが付いているが、どうもウイルスが付いているようだ。」とのことでした。

送られてきたメールを確認させてもらおうと、送信者のメールアドレスはまったく覚えがないアドレスですが、メールの本文に書かれている発信者名はサポート株式会社 営業〇〇となっています。【図2】



【図2】

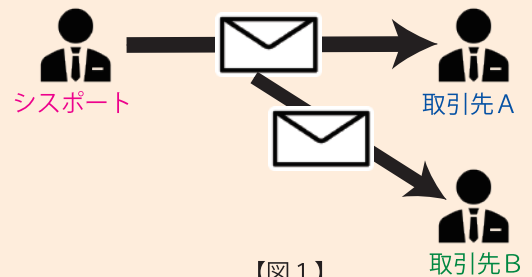
もともとサポートは「取引先A」になんらかのメールを送っていました。（【図1】参照）

そのメールアドレスなどが盗まれ、「取引先B」に偽のメールを送りつけてきたのです。メールソフトの方で迷惑メールに分類してくれればいいのですが、そうでなければうっかり添付ファイルまで開いてしまうことも考えられます。

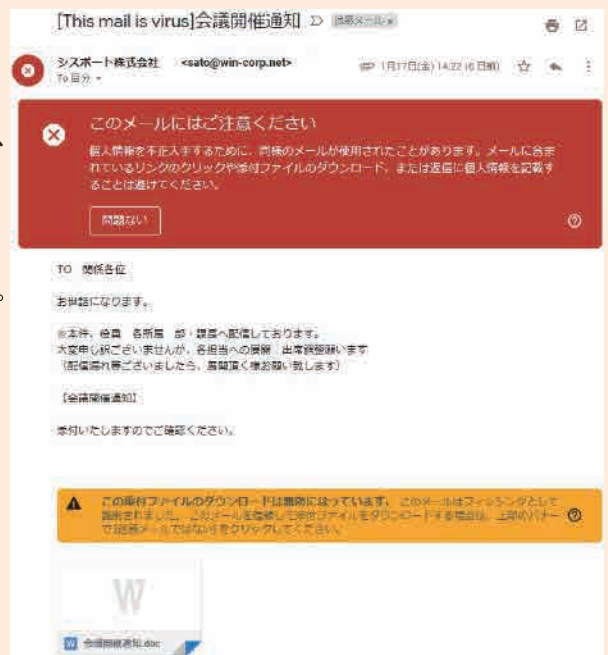
弊社にも同様のメールが届いたのですが、ウイルス対策ソフトが反応してくれて被害はありませんでした。（【図3】参照）

どうか皆様も十分ご注意ください。

自社のセキュリティに関してなにかご相談事があれば、お気軽にお問合せください。（シンキチ）



【図1】



【図3】

# 読者 訪問



第122回

お伺いした会社	株式会社ウエストジャパン
お話を伺った方	代表取締役社長 山本 絵美子様
会社の所在地	〒601-8212 京都市南区久世上久世町 358
連絡先など	TEL:075-934-0222 FAX:075-933-9575
業務内容	動物霊園経営
URL	<a href="https://www.petnosougi.com/">https://www.petnosougi.com/</a>

今回は動物霊園を経営なさっている(株)ウエストジャパン様の山本社長をお訪ねしました。山本社長のお父上が昭和52年に創業なさったのが始まりだそうです。当時は動物霊園はほとんどなく京都では同社が最初だったそうです。創業しはじめた40年前は、ペットはごみ焼却のイメージで行政に引き取ってもらうというのが当たり前で、“ペットの葬儀”というものが珍しい時代でした。また、宗教上、動物は汚らしいという理由でお寺からも葬儀を拒否されるケースも少なくなかったとか。ところが世の中が少しずつ変わってきて、ペットはペットの葬儀をしたいという風潮が当たり前になってきました。それと共に事業も発展してきました。



山本社長

同社の対応は大きく分けて二通りあります。ひとつは、同社の斎場で葬儀して火葬し、骨拾いをして、納骨もしくは飼い主に骨を返すというやり方。もう一つは、ペットを預かってきて代行で葬儀をし、お骨を納骨もしくは飼い主に返すというやり方です。納骨は提携しているお寺のペット専用墓地に納骨するのだそうで、提携寺院は京都市内と南丹市に4カ所あります。



斎場の様子

最近では自分のお墓に入れる人もいるそうでペットは家族同然になってきました。先祖のお墓には年に一度くらいしかお参りしないがペットのお墓には毎月行くという人もおられると苦笑いされていました。時代や価値観が変わってきたことにより市場規模が拡大してきました。それに伴って同社の業績も拡大し、事業も大きくなっていったとおっしゃいます。しかし、それも平成20年頃までだったそうです。ペットの葬儀やペット霊園が認知されてきたことに伴い、競合相手が次々と出現します。火葬炉が簡単に入手出来るようになったこともあって参入障壁が低くなり、ライバルがどんどん出てきました。当然のことながらそれに伴って業績は下降します。これからは淘汰の時代に入ったと山本社長はおっしゃいます。新規参入者が価格を安くしてきていて設備投資してもなかなか回収出来なくなり、いかに生き延びるかがこれからの課題だとも。価格競争に巻き込まれないようにいかに差別化を図るかということがこれからの生き残り戦略だとおっしゃいます。



納骨堂

これからは葬儀された方のアフターフォローが今まで以上に大切になってくるとおっしゃいます。口コミが大きいだけに今までの歴史を強みに、葬儀して終わりではないお付き合いをしていくことが大事だと。最近ご導入いただいたサポートの販売管理システム『ぽんぽん』の個客管理機能を強化し、飼い主情報はもとより、ペットの名前、種類、大きさ、死亡日などのデータを蓄積出来るようにして、提携寺院で毎年行っている法要祭の案内を出したり、各種検索を迅速に出来るようにしたりして、顧客満足度を高めることが出来るようになってきたとおっしゃいます。リピーターは10年以上のお付き合いのところが多く、40,000件以上の飼い主データを以前管理していたAccessから『ぽんぽん』に移行出来たのも良かったとご満足いただいております。歴史のある同社がITの活用で他社との差別化を図り、今後その歴史をますます大きく伸ばして行かれることを祈念して帰路につきました。(米田)



いちちょかみ

## “一丁噓”が行く!

第137回: コロナウイルス

コロナウイルスによる新型肺炎の感染が広がっていますが、皆様のところでは如何ですか。京都は観光客が激減して観光関連業界は大変なことになっています。中国人観光客が減ったのは当然ですが、それ以外の観光客(日本人含む)も感染リスクを恐れて旅行しなくなったようです。

このウイルス感染による致死率はそんなに高くないということで、肺炎そのものをあまり恐れることはないかと思いますが、万が一感染となったら数週間隔離されてしまいます。さらに会社のメンバーも“濃厚感染者”ということで一緒に隔離などされてしまうと業務が全くできなくなってしまい、会社存亡の危機を迎えることになりかねません。

感染予防には、こまめなうがいと手洗いが効果的だそうです。弊社でも外出時のマスク着用と帰社時のうがい、手洗いを徹底するよう指示しており、少しでもリスクを軽減すべく努力しています。幸いなことにマスクは備蓄がありましたので、なんとか対応することが出来ています。皆様におかれましてはBCPの観点からも十分な対策を講じて下さい。(一丁噓)

### 編集後記

今年はかなり異常な暖冬だそうです。2/7頃まで寒い日が続きましたが、また、13日頃から平年を上回る気温の高さになるようです(2/12執筆中)。地球温暖化のせいでしょうか、なんとなく気持ち悪いですよね。例年より早く梅が咲いたところもあったようですが、恐らく梅の花も、もしかしたらさくらの花も、地球温暖化に振り回されているのかも知れませんね。